

昭和女子大学大学院 生活機構研究科

生活文化研究専攻

2年制コース／社会人1年制コース 男女共学



- ▶ 所定科目習得後、准認証アーキビストへの申請・認定
- ▶ 歴史文化分野に関わる研究スキル養成



生活文化研究専攻の分野

日本近現代史(松田 忍)

民俗学・芸能史(大谷津早苗)

日本考古学(鈴木伸哉)

西洋史(湯上 良)

アーカイブズ学(三野行徳)

日本美術史(鶴岡明美)

文化財保存科学(村上夏希)

東洋史(毛利英介、ボルジギン・フスレ)

人文地理学(松山周一)

西洋美術史(永井裕子)

OPEN CAMPUS

2026

2026年度 大学院オープンキャンパス

9月12日 平野 泉氏による講演会、専攻説明会、進学相談会

11月7日 模擬授業、進学相談会

12月12日 専攻説明会、進学相談会

詳細・お申し込みは
こちら!



学部から進学、じっくり研究するコース。

2年制
コース

カリキュラム表



専門研究分野 選択必修科目			
研究科目	日本近世史、日本近現代史、東洋史、西洋史、地理学、民俗芸能研究、日本美術史、西洋美術史、考古学、文化財保存学、アーカイブズ学		2科目 4単位
演習科目	ゼミナール形式で各分野の専門性を高める科目	4科目 8単位	特別研究科目 修士論文作成指導 2科目 8単位

専門研究分野と合わせて、下記プログラムの選択により資格取得を目指すことができます。

アーキビスト養成プログラム必修科目	
科目	アーカイブズ理論、アーカイブズ史料論、アーカイブズ史、アーカイブズ情報論、アーカイブズ実習、アーカイブズ演習
6科目 12単位	
考古調査士1級必修科目	
科目	考古学研究、埋蔵文化財行政学特論、埋蔵文化財調査法
4科目 8単位	

社会人のためのコース。最短1年で修士号、アーキビスト、専門資格の取得を目指す。

1年制
コース

カリキュラム表



- 仕事をもちながらも、専門性を高め、研究を進めていきたいという方のために設置されたコースです。
- 授業は平日夕方や土曜日、夏期・冬期集中で設定、オンラインで受講が可能な授業もあり、働く社会人や遠隔地にお住まいの方に適した環境を用意しています。
- 科目等履修制度を利用して、入学前に単位を取得した上で修士課程に進むことで、学費を抑えることもできます。
- 厚生労働省 教育訓練給付金制度を利用することで、最大10万円が支給されます。

専門研究分野 選択必修科目			
研究科目	日本近世史、日本近現代史、東洋史、西洋史、地理学、民俗芸能研究、日本美術史、西洋美術史、考古学、文化財保存学、アーカイブズ学		2科目 4単位
演習科目	ゼミナール形式で各分野の専門性を高める科目	2科目 4単位	特別研究科目 修士論文・成果物作成指導 2科目 8単位



アーキビスト養成プログラム必修科目	
科目	アーカイブズ理論、アーカイブズ史料論、アーカイブズ史、アーカイブズ情報論、アーカイブズ実習、アーカイブズ演習
6科目 12単位	

※考古学研究など必修科目を履修の上、考古調査士1級も取得可。

School Calendar

※4月入学の場合

1年目	2年目
4月	入学式・履修登録
5月	履修登録
6月	前期授業
7月	例会・懇親会
8月	集中講義 実習調査
9月	集中講義 国立公文書館などでの実習調査
10月	履修登録
11月	修論題目届提出
12月	文化史学会大会
1月	修論提出・口頭試問
2月	修論発表会
3月	修了式

School Calendar

※4月入学の場合

入学前	入学後
4月	履修登録
5月	事前個別面談
6月	出願
7月	入試・合格発表
8月	科目等履修事前相談
9月	科目等履修出願
10月	科目等履修開始
11月	履修登録
12月	事前個別面談
1月	出願
2月	入試・合格発表
3月	修了式

※科目等履修制度は、正規学生以外の方が選考の上、大学院の授業を受講できる制度です。

アーキビスト養成プログラムについて

アーキビストとは、永久保存価値のある記録を残し、伝える仕事



アーキビストは、公的機関をはじめ、民間企業など、さまざまな組織が作成した公文書や記録について、収集・分類・管理・保存・活用すべきかどうか評価・選別を行い、その資料の公開サービスに関することまで担う専門職です。国立公文書館では、2021年1月から「認証アーキビスト」資格を認定しています。アーキビストは国立公文書館をはじめ、全国の自治体が設置している文書館や博物館・美術館、さらに民間企業での活躍が期待されます。

アーキビスト養成プログラムの特長

- アーキビスト養成プログラム関連科目12単位を履修することで昭和女子大学認定アーキビスト(1級)を取得できます。
- アーカイブズ学とともに、専攻の専門分野を学ぶことが可能です。
- 国立公文書館が認証している「認証アーキビスト」は、A「知識・技能」、B「実務経験」、C「調査研究能力」の要件が審査対象となります。本プログラムはAに該当し、Cは学内の『文化史研究』他への論文投稿・掲載などで取得可能です。
- 海外演習では、海外の文書館について現地で学ぶことができます(隔年開催)。



認証アーキビストの
申請について



Q & A

- Q** アーキビスト養成プログラムを受講する場合、修士論文はアーカイブズ学で書かなければいけないのですか？
- A** いいえ、生活文化研究専攻に設置している歴史学や美術史など、各分野で執筆することが可能です。
- Q** 遠方に住んでいます。授業はオンラインで受講できますか？
- A** 授業によりますが、オンラインで受講することは可能です。
- Q** 今まで文学部系の学問を学んできた経験がないのですが、大丈夫でしょうか？
- A** アーカイブズ学は、非常に間口の広い学問です。これまでも経済学部や法学部など、幅広い学問分野で学んだ方々が修学・修了されています。

取得できる資格

1 国立公文書館 准認証アーキビスト

2 昭和女子大学認定アーキビスト1級

3 専修教員免許状(社会、地理歴史)

4 考古調査士1級

5 学芸員

資格の
前提条件

Voices of Seniors

アーキビスト養成プログラムの先輩たちが経験談を語ってくれました。

MLAをつなぎ、活かす学び

博物館・図書館・文書館で扱う資料や業務には親和性があり、一方で利用目的や整理方法など明確な相違もみられます。アーカイブズの基礎理論から最新動向、目録作成など授業や実習で得られた体系的な知識と実践は、アーキビストの仕事だけでなく博物館や図書館の現場でも活かせるものと感じています。

科目履修と修士論文を並行して進める一年間はハードでしたが、様々なバックグラウンドを持つ方々と議論を共有した時間は代え難い経験となりました。

楯石もも子（元東京都江戸東京博物館 司書）



仕事と学びの両立で見た、企業アーカイブズの可能性



ファッション小売企業のアーカイブズ業務を推進するにあたり、専門知識の必要性和先行事例の少なさを痛感し、大学院での学びを決意しました。多様な研究を通して視野が広がり、公文書管理の方法論が企業アーカイブズにも応用可能という気づきを得ました。また、体系的な知識により、自社アーカイブズを俯瞰的に見直す視点が養われ、アーキビストとしての専門性と実践力を高める大きな糧となりました。

今後は、培った専門性を企業の未来に繋げるアーカイブズに活かしたいと考えます。

長友美恵子（株式会社ビームス アーキビスト）

アーキビスト養成プログラム関連講師

太田富康「アーカイブズ理論」
工藤航平「アーカイブズ史料論」
矢野正隆「アーカイブズ情報論」
上代庸平「アーカイブズ管理論」

三野行徳「アーカイブズ演習」「アーカイブズ実習」
湯上 良「アーカイブズ演習」「アーカイブズ史」
ボルジギン・フスレ「地域文化研究 IB」



入試日程／出願期間

- 7月期：2026年7月4日（土）／6月2日～6月16日
- 2月期：2027年2月20日（土）／1月6日～1月20日

事前個別相談について

事前個別相談を必須（出願条件）としています。

- 生活文化研究専攻 [E-mail: exam-inseibun@swu.ac.jp](mailto:exam-inseibun@swu.ac.jp)にて受け付けております。
- 「2027年度 昭和女子大学大学院入試要項」p4を参照し、期限内にお申し込みください。

申込期限 2月期入試：12月7日（月）

学費

■ 科目等履修制度

入学前に科目等履修を進めておくと、1年での修了を無理なく目指せます。科目等履修制度は、正規学生以外の方が選考の上、大学院の授業を受講できる制度です。修得した単位は、大学院入学後、上限15単位まで既修得単位として認定されます（アーキビスト養成プログラム関連科目および演習を除く）。

履修料1単位 24,000円 登録料 3,000円（本学卒業生は履修料半額）

- 本学卒業生は入学金免除。
 - 入学金10万円、基礎授業料10万円（年半分）、単位授業料1単位4万5千円（大学院1年制コースの場合）。
 - 厚生労働省 教育訓練給付制度の講座に指定（上限10万円まで給付）。
- ※ 最新の入学者学費の詳細については、決定後本学ホームページ「大学院の学費」に掲載。

お問い合わせ

昭和女子大学大学院 生活機構研究科
生活文化研究専攻

E-mail: exam-inseibun@swu.ac.jp（湯上・三野）

入試に関するお問い合わせ 電話受付時間 平日9:00～16:00

詳しくはこちら

アドミッションセンター 0120-5171-86

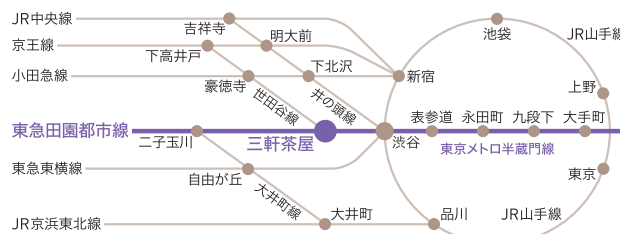
TEL. 03-3411-5154 E-mail: spass@swu.ac.jp



交通アクセス

所在地：東京都世田谷区太子堂1-7-57

東急田園都市線／三軒茶屋駅（渋谷から3分）下車徒歩7分



必ず「昭和女子大学大学院入試要項」とあわせてご覧ください。